



お寺といえども情報化社会においてはITなんて関係ないなんて言ってもらえません。正しい知識を身につけて、教化活動に活かしましょう!

お寺だってIT No.5

～ Twitterって何? ～

最近ではメールや携帯電話、パソコン等でコミュニケーションをする機会が増えました。知り合いの子どもさんはボーイフレンドからの告白もメールでされたそうで、すっかり時代が変わった印象があります。そんな現在のコミュニケーションツールとしてTwitter（ツイッター）が流行っています。

Twitterとは「さえずり・興奮」「無駄話」の意味で、Tweetする事を日本では「つぶやき」と意識され定着しています。つまり、携帯電話やパソコンを通じて”つぶやく”ためのツールです。Twitterでは140文字以内で”つぶやく”という規定があり、その限られた文字数の中でつぶやくと世界中の誰でもインターネットに接続できる環境があれば見る事が出来ます。

日本の政治家や芸能人、アーティストの方も使用している事、また無料で使用出来ることもあり、日本では月間利用者が2400万人もいるそうです。某携帯会社の社長さんの投稿を読んでいる方も100万人を超えているそうで、メールでもなく、ファックスでもなく、”今の言葉”を見ることが出来るのも人気の要因となっているようです。

お寺での使い方として「自坊の報恩講なう。門徒の皆様、宜しくお願いします」というつぶやきをしたとします。「なう」とはNOWに変わる言葉で今現在おこなっているという意味になります。つまり「今日はお寺の報恩講があります。門徒の皆様におかれましてはどうぞ宜しくお願いします」と言ったような”つぶやき”です。写真データー等もつぶやきと同様にすることが出来るために非常に人気が高く、外向き発信に利用するなど140文字という制限がありますが寺院からのつぶやきも今後定着するかもしれません。

【委員MK】

パソコン相談室

- 日時 毎月第二・第四木曜 午後5時～7時
- 場所 教化センター2F・青少年ルーム

※予め教務所に訪問日と質問内容をご連絡いただければとそれに合わせた準備ができますので助かります。

連絡先 大阪教務所 06-6251-4720

◆ 大阪教区ホームページ実行委員会 ◆
銀杏通信 <http://www.icho.gr.jp/>